



きゅうと

VOL.2

NO.3

2007.10

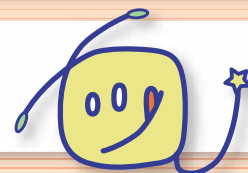
図書館ホームページ リニューアル!! 学習・研究を強力にサポート!!

見やすく、
わかりやすく、
新機能満載!!



欲しい情報がより探しやすく

さまざまな申し込みが
webから簡単に



ヘルプも充実

RSSでニュースをお届け

詳しくは裏面へ!

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

CONTENTS

- つなぐ 図書館の可能性
- 資料紹介 福岡城下町・博多・近隣古図
- 自著紹介
- NEWS

- レファレンスOne Point アドバイス
- 新ホームページの機能紹介
- 図書館員のおしゃべりコラム



図書館の可能性

法学研究院 学術研究員(協力研究員) 安東 奈穂子

図書館って？

試験勉強をするとき、レポートの課題を調べるとき、論文を執筆するとき、私たちは図書館に行きます。でも今や、私たちの日頃のちょっとした「？」は、ネット検索すれば解決してしまいます。では、これから私たちが図書館へ出かける理由は乏しくなってしまうのでしょうか？いいえ、私はそうは思いません。図書館は、知りたい情報を短時間で的確に提供してくれるばかりでなく、私たちが、思いもかけない情報を「発見！」できる、“寄り道の豊かさ”を教えてくれる場所でもあるのです。

本の扉

例えば、いざ図書館に行ってみるとパソコンで検索したときとは違う本を借りて帰ったとか、調べたいことと直接関係しないような本まで読んだなんて経験、皆さんきっとあるでしょう。これは、目的の本棚までたどりつく途中で目に入る情報や、実際に本を手にとって分かる重みや使い込まれている様子、また、自分のすぐ後ろには近いけど違う分野の本が並んでいることなどが、皆さんの知的好奇心を刺激したからに他なりません。そう、図書館の本棚の1冊1冊が、先人の英知、歴史や文化、最先端技術と私たちをつなぐ扉であり、その扉の向こうとつながることで、つい独りよがりや狭くなりがちな視野を広げることができるのです。

夢の図書館

でも、もっともって図書館には、私たちの視野を広げるきっかけや知的好奇心をくすぐる仕掛け、また心癒されるゆとり空間が増えてもいいかもしれませんね。例えば、絵画や彫刻、花や植物があるのでしょうか？定期的に映画が上映されたり、コンサートがあったり、独り暮らしの学生さんのための料理教室が開かれたりなんていうのも楽しそうです。観た映画の内容について深く考えてみたくなったり、聴いた音楽の時代背景が知りたくなったりしたら、そのときは、帰りに“本”です。

人と人をつなぐ

また、本の扉の向こうには、以前にその本を読んで、自分と情報を共有する利用者もいるはず。私たちは、その利用者の名前も学部さえも知りません。でも、同じ本を読んでどう思ったか

聞いてみたくありませんか？さらに、その本をこれから借りる利用者に何かアドバイスできることはないでしょうか？同じ大学の同じ図書館で多くの人がすれ違っていながらも知的交流はなかなか難しいのが現状です。ところが本は、学部や専攻、教員や学生の別を超え、自由に流通しています。大学の知の活性化、学際的研究の発展のためにも、“本が”利用者と利用者をつなぐ”ことに着目した、利用者同士の新しいコミュニケーションを支援するサービスも充実していくべきでしょう。もちろん、このような図書館サービスの実現には、技術的、法律的、コストの面など、いくつかのハードルをクリアしなければなりません。とくに利用者の個人情報や貸出履歴などのプライバシー情報は慎重に取り扱われる必要があります。それを十分に考慮した安心・安全な個人認証システムと情報管理、そして今まで培ってきた利用者と図書館職員の信頼関係のもと、私たち皆で知恵を出し合い議論を重ね、図書館の更なる可能性について考える時代にきています。



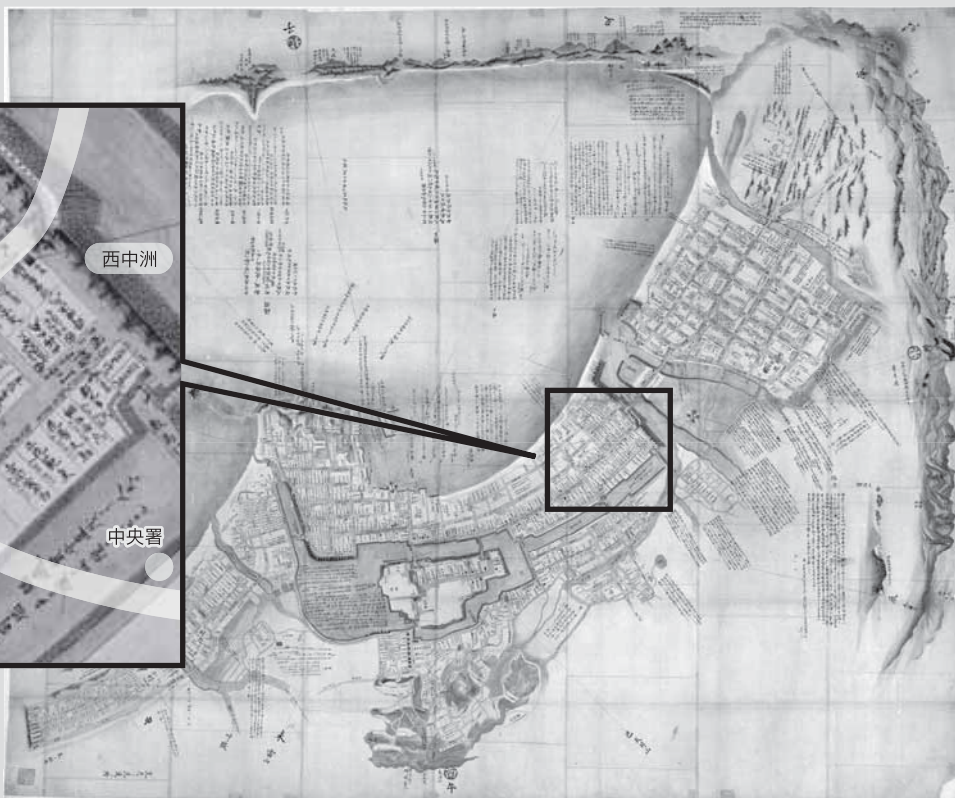


九州大学附属図書館では、16～19世紀にヨーロッパで作製されたアジア図や長崎図・筑前国絵図・博多図・和城図・鉱山図など各種の古地図を所蔵しています。今回はその中から、福岡・博多の古地図を紹介いたします。

福岡城下町・博多・近隣古図



天神町(てんじんのちょう)の拡大図
(現在の福岡市中央区天神)



文化9年(1812)写(縦 223.2× 横 266.5cm)

九州大学記録資料館九州文化史資料部門(九州文化史研究所)所蔵「三奈木黒田家文書」423号

福岡藩家老の三奈木黒田家に伝来したこの絵図は、江戸時代後半の19世紀初めにおける福岡・博多の様子が描かれたものです。一般に福岡を武士の町、博多を商人の町と呼びますが、これは市街の形態や機能、住民構成の違いだけでなく、その形成過程の違いも大きく影響しています。絵図の中においても、福岡・博多の家数などを別々に書いてあり、福岡は武士宅838軒・町人宅1629軒、博多は町人宅3395軒とあります。

福岡と博多の違いは、福岡弁と博多弁の違い、または人々の意識や博多祇園山笠などの祭礼にも表れていますが、福岡藩の行政においては、ともに町奉行の管理下にあり、一体のものとして掌握されていました。したがって、福岡城下を描く他の絵図においても、福岡と博多はセットで描かれることが多いのです。

絵図には、文化9年(1812)に写したことが明記されており、和歌なども書き込まれています。福岡・博多の歴史・地理・文

化に関する豊富な記述があり、侍屋敷には居住者の名前、さらに一部には石高や家紋まで書き込まれています。これは、福岡藩公用の絵図ではなく、公用のものを参照して作られた私用の絵図とされています。

この絵図を原図にして、現代地図などの情報を重ね合わせ、比較したものに、「今昔・福博絵図」(九州朝日放送・福博総合印刷、1996)があります。博多港一帯が広く埋め立てられ、海岸線が大きく動いている様子などが伺え、非常におもしろいものです。(中央図書館2階自由閲覧室に常設展示)

また、九州大学デジタルアーカイブ(<http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/>)では、九州大学が所蔵する記録史料を中心にデジタル化し、Web上で公開しています。今回紹介した「福岡城下町・博多・近隣古図」も詳細な絵図の細部までご覧いただけます。

自著紹介 本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください



誌面の都合により、一部次号掲載とさせていただきます。

比較社会文化研究院准教授 嶋田 洋一郎

「ヘルダー論集」

ISBN: 9784903554044

嶋田洋一郎著
花書院 2007.3

18世紀後半のドイツの思想家ヘルダーは、古くは和辻哲郎の『風土』において、また近年ではベネディクト・アンダーソンの『想像の共同体』において言及されるが、その思想の全体像は今なお未解明な点が多い。本書はドイツの文学、哲学、歴史学、さらにはナショナリズム研究などにおいて各学問分野の視点から語られてきた個別のヘルダー像をふまえながら、「完全性は分散している」というヘルダー自身の言葉を手がかりに、「分有」あるいは「互恵性」の観点から、あえて全体的なヘルダー像を描こうとするものである。

〔中央図書館 / 六本松分館 / 理系図書館 / 文系合同図書室(文・経)に所蔵〕

名誉教授(経) 森本 芳樹

「西欧中世初期農村史の革新：最近のヨーロッパ学界から」

ISBN: 9784833223881

森本芳樹著
木鐸社 2007.3

西欧中世初期はゲルマン民族大移動からヴァイキングの活躍まで、広く歴史愛好者の興味を惹きつけてきた時代である。が、その経済生活はきわめて低水準で停滞的であったと考えられてきた。こうした見方がここ四半世紀の間にすっかり変わって、ヨーロッパの歴史家と考古学者たちは、この時代の独特で活発な社会と経済を描き出すことに成功した。本書は広い文献検索の上に立って、そのような研究史の革新を描き出す試みである。

〔中央図書館 / 六本松分館 / 文系合同図書室(文・経)に所蔵〕

芸術工学研究院教授 脇山 真治

「プレゼンテーションの教科書」

ISBN: 9784822264512

脇山真治著
日経 BP 社 2007.6

巷には多くのプレゼンテーションをテーマにした本が出ており、「……の技術」「……テクニック」といった手法、ノウハウものが目につきます。本書はプレゼンテーションを計画・構成、準備、技術、人間的側面等を組み込んだ総合的なパフォーマンスととらえ、これらを本書で提起した「プレゼンテーション関数」をとおして紹介しています。また聞き手の立場を尊重する姿勢を貫いており、聞き手にとって魅力的なプレゼンテーションをおこなうための多角的・実践的なスキルを獲得することを目指しました。すでにこの一部は日経アザイン誌や、日経ビジネスオンラインで連載して好評をいただきました。日ごろ企画提案や業務報告、講演、研究発表をされるビジネスパーソンや研究者の皆様に向けた一冊ですが、できるだけ丁寧に書きこんでいます。

プレゼンテーションは多くの企業や自治体、教育関係者が関心をもっており、国民総プレゼンターといってもよいくらいの現実があります。その意味では口下手だ、スピーチは苦手だ、プレゼンは誰かに代わってほしい……などと言えない状況にあるようです。プレゼンテーションは速習できる対象ではありませんが、本書は真面目にそして地道にスキルアップを目指したい方々には必ずお役に立てるものと考えています。

〔芸術工学分館に所蔵〕

言語文化研究院准教授 大谷 順子

「国際保健政策からみた中国：政策実施の現場から」

ISBN: 9784873789422

大谷順子著
九州大学出版会 2007.3

九州大学アジア総合政策センターの刊行する九大アジア叢書(旧KUARO叢

書)という新書版のシリーズで、本書はその第8巻として刊行された。九州大学のアジア研究者が、国内外の機関と連携しながら政策提言につなげるための調査・研究を行なうと共に、アジアに関する情報の集積と発信する重要な場ともなっている。

目覚ましい経済発展や2008年に控えたオリンピック開催で世界の注目を受ける一方、SARSや鳥インフルエンザの流行でも関心を集める中国。国際機関職員として政策の実施に取組んだ著者が、人口、感染症や生活習慣病対策、医療制度など、国際保健分野からみた中国を描く。

筆者は、2005年九大に赴任するまで、世界銀行や世界保健機関(WHO)の職員として、国際保健に携わってきたが、特に十年に及んで関わった広大な中国という魅力あふれる現場で、13億人の健康のために、取組んだ著者による臨場感あふれる読み物でもあり、公衆衛生学、国際保健・人口学のあらゆる分野を網羅した教科書的な本でもあり、資料としても、とても役に立つ。公衆衛生が専門ではない読者でも楽しめ、特に中国に行くときなどは必見の本。中国について、ビジネス、経済、歴史、文学などから書かれた本は、山ほどあるが、国際保健という切り口は斬新であり、新たな中国の一面を提示する。また、これらの国際機関への最大の拠出金を出している日本の国税の使われ方からも、納税者からも必見の参考書である。筆者が共に仕事に取組んだ、国連開発計画(UNDP)、JICAなどの諸機関の職員、また九大留学生などによるコラム記事も面白い。

〔中央図書館 / 六本松分館 / 芸術工学分館 / 筑紫分館 / 医学分館に所蔵〕

名誉教授(農) 伊藤 肇躬

「肉製品製造学」

ISBN: 9784771207035

伊藤肇躬著
光琳 2007.5

本書は肉製品(ハム・ソーセージ等)の造り方・製造機械および製造に当たり遵守すべき総合衛生管理、肉製品製造の理論的裏付けについて解説したものを主題としている。併せて、筋肉の構造、筋原線維タンパク質の化学、筋収縮の理論、筋収縮のためのエネルギー供給系、筋肉の発生・再生・肥大、家畜のとさつ・解体の仕方と枝肉の格付、BSE、食肉の栄養、筋肉の死後硬直・解硬・熟成、肉質異常、肉質調節、等についても詳しく解説している。また、肉骨粉の製造法等主な副産物の利用法についても解説している。要するに、本書には、肉・肉製品に関連する科学を理解する上に必須と思われる話題が網羅されていると思われる。

〔中央図書館に所蔵〕

高等教育開発推進センター特任教授 岡本 秀穂

「複合化の世界：1+1は2か(ポピュラーサイエンス；274)」

ISBN: 4785387742

岡本秀穂著
裳華房 2006.2

本書は、繊維で樹脂や金属を強化した複合材料について、著者の研究開発の経験と知識を基に、複合材料に限らず、自然科学や工学で扱う複合化の現象を簡単なモデルで横断的に解説したものです。ある機能をもった全体システムを複数の構成要素から作る(設計する)ための「複合化の科学」試論ともいえる書です。

全編を通じて、信頼性が低い要素(材料)からでも信頼性が高い構造(システム)を作ることができる主張をしています。言い換えると、ある基準で異なる要素を適当量だけ含んでいた方が全体としては機能が高くなります。これが本書の副題の「1+1=2か」の由縁です。毛利元就の三本矢の「たし合わせ」ではない「複合化」の世界には、身の回りでの面白い現象が含まれています。

ふだん見慣れた風景でも、違う道を歩いてみれば何かが見えるかもしれません。また人間組織の機能を考える上でも、本書からご自分なりのヒントを得てほしいと願っています。

〔六本松分館に所蔵〕

このほか、以下の先生方より、著作をご寄贈いただきました。

医学研究院教授 神庭 重信

「Advanced Psychiatry：脳と心の精神医学」

ISBN: 9784765312998

武田雅俊、加藤敏、神庭重信著
金芳堂 2007.5 [医学分館]

言語文化研究院准教授 吉村 治郎

「ロレンスの文学と思想：太陽とともに」

ISBN: 9784875719892

吉村治郎著
開文社出版 2006.12 [中央図書館 / 六本松分館 / 文系合同図書室(文)]

NEWS

学生モニター募集中！

図書館を利用いただいている皆様のご意見やご要望を図書館サービスに反映させるため、学生モニターを募集しています。
「こんな図書館になったらいいなあ」「図書館のここをどうにかして欲しい」など、ぜひあなたの声をお聞かせ下さい。

応募資格: 中央図書館を利用される九州大学の学部生、院生の方。

お願いする内容: 1) 図書館スタッフとの懇談会に参加していただきます。

2) アンケートに回答していただきます。それぞれ3回程度を予定しています。

期 間: 平成19年11月1日～平成20年3月末

申込方法: 中央図書館カウンターに用意しております申込書によりお申込みください。

申込期限: 平成19年10月末 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

選 考: お申込みいただいた方の中から選考の上決定させていただきます。結果は平成19年11月15日までに、ご本人に連絡します。

問 合 先: 附属図書館 サービス企画係 TEL:092-642-2533 e-mail: circ2@lib.kyushu-u.ac.jp

中央図書館、朝8時から開館しています。

中央図書館では、10月1日より、平日の開館時間を45分早め、朝8時から開館しています。1 時限目の授業の前にも図書館が利用できるようになりました。夜も10時まで開館していますので、どうぞご利用下さい。

理系図書館の増築工事が始まります。

平成20年度末、六本松地区が伊都地区に移転します。これに伴い、理系図書館の2-3階を増築し、六本松分館の資料を移転することになりました。

工事期間中、理系図書館は通常通り開館しサービスの維持には最大限配慮してまいります。利用者の安全確保のため、工事の進捗状況によりサービス・館内施設の利用を制限することがございます。利用者の皆様にはご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解・ご協力をお願い致します。

なお、サービス・利用可能施設の変更等につきましては、ホームページ等で随時お知らせしてまいります。

中学生が附属図書館で職場体験学習

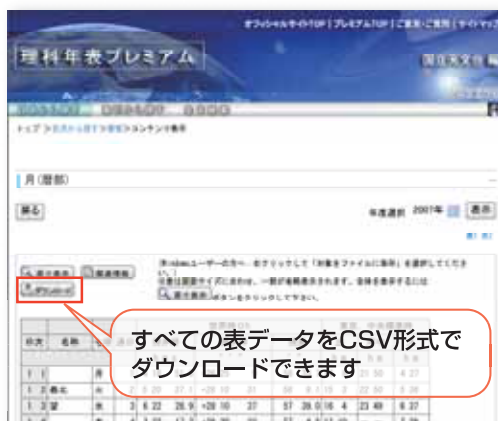
附属図書館では、9月に中学生の職場体験学習を受け入れました。

職場体験学習は、中学生の自己開拓の一環として、実際に職場で仕事を体験することを通して将来の進路選択に役立てていくことを目的としています。今回は中央図書館で5名、芸術工学分館で1名、理系図書館で3名と、多くの中学生が図書館の仕事を体験しました。3～5日間と短い体験期間ながら、カウンター受付、図書の配架作業などの利用者サービスの仕事を中心に、様々な図書館業務を体験してもらいました。慣れない仕事で最初はとまどい気味のようでしたが、段々と職場の雰囲気にも慣れ、仕事に熱中していく様子が印象的でした。



中学生らによる図書の整備実習(中央図書館にて)

レファレンス One Point アドバイス



すべての表データをCSV形式でダウンロードできます

Q. 理科年表を Web で見ることはできますか？

A. 九州大学では「理科年表プレミアム」を利用することができます(<http://www.rikanenpyo.jp/member/>)。大正14年の創刊から最新年度版までのデータが掲載されており、知りたい理科・科学データに簡単にアクセスすることができます。

その他にも、様々な電子版の事典・辞書・統計データ等を提供しています。

たとえば、JapanKnowledge:

日本の百科事典・辞書類

Gale Virtual Reference Library:

海外11分野 約40種の専門事典

SourceOECD:

OECDが出版する報告書、統計データ など

新ホームページの機能紹介

- ① 最適なデータベースやサイトにナビケート！
- ② ここからすぐに検索開始
- ③ メニューバーから目的のページへ
- ④ 便利なツール使ってみよう！
- ⑤ 「どうする？」の「？」をここで解決！
- ⑥ 週末の開館時間もここでチェック！
- ⑦ 貸出更新や図書購入リクエストもここからダイレクトに
- ⑧ RSS対応



他にも新機能満載!!

図書館員の おしゃべりコラム

このおしゃべりコラムは活躍する若い図書館員の場かと思いきや編集氏曰く「たまにはご高齢を」なるほど、違いない。

図書館員も年輪を重ねれば幾つかの大学や本学の中でも幾つかの分館、部局図書室等で働いた経験を持ちます。図書館を利用する学生さん達も所属する大学や学部の個性を持っているように思えます。ある大学の多くの学生さんはカウンターではっきり何をしてもらいたいのか意思表示ができ、挨拶や御礼まで言ってくれます。私たちは「ああ、先生や親御さんの躰が行き届いている」と思ってしまう。その瞬間、私たちにとって、その学生さんは「嬉しい」利用者になるのです。本をスーとつき出して無言でおられると「返却ですか？貸出ですか？」と聞かざるを得ません。「嬉しい」利用者になるのは簡単です。「こんにちは！この本を貸して下さい。ありがとう」で充分です。本学でも最近、「嬉しい」利用者が増えています。

多分、私にとって最後であろう現在の勤務場所で嬉しく感じるがあります。それは教員・学生が資料をととても大事にしていることです。当たり前の事ですが図書館職員である私自身が今までを恥ずかしく思いました。電子的資料のみに目が行き、私たちの原点をややもすれば忘れがちになるところでした。原点を見つめ直す事ができ嬉しい次第です。



(文系合同図書室 M.F.)